



# 平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年10月30日

上場会社名 大都魚類株式会社

上場取引所 東

コード番号 8044 URL <http://www.daitogyorui.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 網野裕美

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 前安井裕

TEL 03-5565-8112

四半期報告書提出予定日 平成29年11月6日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	54,853	2.8	238	51.4	263	42.7	171	72.7
29年3月期第2四半期	53,377	2.1	157	62.3	184	59.5	626	62.1

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 186百万円 (70.1%) 29年3月期第2四半期 623百万円 (65.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	54.34	
29年3月期第2四半期	198.98	

(注) 当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	24,283	8,863	36.5
29年3月期	22,426	8,772	39.1

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 8,863百万円 29年3月期 8,771百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期				3.00	3.00
30年3月期					
30年3月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。

株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たりの年間配当金は3円となります。詳細は、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	115,000	2.1	520	22.2	550	17.9	550	40.8	174.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成30年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。詳細は、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	3,162,274 株	29年3月期	3,162,274 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

30年3月期2Q	13,777 株	29年3月期	13,777 株
----------	----------	--------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	3,148,497 株	29年3月期2Q	3,148,694 株
----------	-------------	----------	-------------

(注)当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式及び期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 当社は平成29年6月23日開催の第71期定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株にする株式併合を実施し、併せて同日付で、単元株式数を1,000株から100株へ変更しております。なお、株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下の通りです。

(1)平成30年3月期の配当予想

1株当たり配当金 期末 3.00円

(2)平成30年3月期の連結業績予想

1株当たり当期純利益 通期 17.47円

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	4
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
(セグメント情報) .....	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、主要水産物の単価高を主要因として、売上高は前年同期に比べ（以下同じ）2.8%増収の548億53百万円となり、売上総利益の改善とシステム費用の軽減等により販売費及び一般管理費が減少したことにより、営業利益は51.4%増益の2億38百万円、経常利益は42.7%増益の2億63百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税等が繰延税金資産の回収可能性見直しを行った前年同期に比べ増加したこと等により、72.7%減益の1億71百万円となりました。

セグメント別実績は次の通りであります。

[水産物卸売]

主要水産物の単価高を主要因として、売上高は1.4%増収の510億78百万円となり、売上総利益の改善とシステム費用の軽減等により販売費及び一般管理費が減少したことにより、セグメント利益は57.1%増益の1億50百万円となりました。

[不動産賃貸]

売上高は1億61百万円と8.1%の減収となり、セグメント利益は72百万円と8.6%の減益となりました。

[水産物その他]

売上高は36億12百万円と28.7%の増収となり、セグメント利益は15百万円と33百万円の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、季節的な要因により売上債権及び棚卸資産が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ（以下同じ）18億57百万円増の242億83百万円となりました。

負債は、季節的な要因により仕入債務及び短期借入金が増加したこと等により、17億66百万円増の154億20百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により、90百万円増の88億63百万円となり、自己資本比率は36.5%（前連結会計年度末39.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月8日に公表致しました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、延期中である築地市場の豊洲への移転の時期につきましては平成30年秋を目途として検討する旨東京都より公表されており、当社の通期業績に大きな影響は生じないものと予想しております。引き続き、事業環境の変化につきましては適切に対処して参ります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,978	1,770
受取手形及び売掛金	7,027	8,402
たな卸資産	5,770	6,432
その他	241	235
貸倒引当金	△288	△310
流動資産合計	14,729	16,530
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,397	2,383
土地	2,659	2,659
建設仮勘定	378	507
その他(純額)	163	164
有形固定資産合計	5,599	5,715
無形固定資産	533	521
投資その他の資産		
投資有価証券	984	997
破産更生債権等	2,845	2,812
その他	487	474
貸倒引当金	△2,753	△2,768
投資その他の資産合計	1,563	1,516
固定資産合計	7,696	7,753
資産合計	22,426	24,283
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,765	4,480
短期借入金	7,230	8,290
未払法人税等	53	112
賞与引当金	6	35
その他	648	588
流動負債合計	11,704	13,506
固定負債		
退職給付に係る負債	1,203	1,184
その他	745	729
固定負債合計	1,949	1,913
負債合計	13,653	15,420
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,628	2,628
資本剰余金	1,628	1,628
利益剰余金	4,188	4,265
自己株式	△24	△24
株主資本合計	8,421	8,498
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	327	336
退職給付に係る調整累計額	22	28
その他の包括利益累計額合計	349	365
非支配株主持分	1	—
純資産合計	8,772	8,863
負債純資産合計	22,426	24,283

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	53,377	54,853
売上原価	50,217	51,650
売上総利益	3,159	3,202
販売費及び一般管理費	3,002	2,964
営業利益	157	238
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	20	24
持分法による投資利益	3	5
その他	16	11
営業外収益合計	40	42
営業外費用		
支払利息	13	15
その他	0	1
営業外費用合計	13	16
経常利益	184	263
特別利益		
固定資産売却益	—	0
受取補償金	34	—
特別利益合計	34	0
特別損失		
固定資産処分損	33	3
減損損失	45	—
その他	—	0
特別損失合計	79	3
税金等調整前四半期純利益	140	260
法人税等	△486	89
四半期純利益	626	171
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	626	171

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	626	171
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4	9
退職給付に係る調整額	1	6
その他の包括利益合計	△3	15
四半期包括利益	623	186
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	623	186
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	水産物卸売	不動産賃貸	水産物その他	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
外部顧客への売上高	50,393	176	2,807	53,377	—	53,377
セグメント間の内部売上高 又は振替高	407	12	706	1,126	△1,126	—
計	50,800	188	3,514	54,503	△1,126	53,377
セグメント利益又は損失(△)	95	79	△17	157	—	157

(注) 調整額△1,126百万円は、セグメント間取引消去であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	水産物卸売	不動産賃貸	水産物その他	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
外部顧客への売上高	51,078	161	3,612	54,853	—	54,853
セグメント間の内部売上高 又は振替高	332	12	784	1,130	△1,130	—
計	51,411	174	4,397	55,983	△1,130	54,853
セグメント利益	150	72	15	238	—	238

(注) 調整額△1,130百万円は、セグメント間取引消去であります。